

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1 シティプロモーション専用ページのページビュー数	件	99,895	R2	134,025				125,000
2 支援を受けて住宅を取得した子育て世帯数(累計)	世帯	—	—	10				40
3 移住相談等を通じた移住件数(累計)	件	41	R2	89				190
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 重要度				— 令和5年度の市民アンケートの結果を踏まえて、次年度に考察します。
満足度				
2 重要度				
満足度				
3 重要度				
満足度				
4 重要度				
満足度				

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 戦略的なシティプロモーションの推進	専用ホームページで情報を発信するほか、第2期亀山市シティプロモーション戦略を策定した。今後、ターゲットエリアの拡大、関係人口の創出を図り、庁内横断的な活動を展開していく必要がある。
② 若者・子育て世帯の定住促進	県サポートセンターと連携した婚活支援やかめやま若者未来会議の継続的な活動、子育て世帯の住宅取得支援等により、若者等の定住促進を進めた。若者未来会議の会員拡大を図っていく必要がある。
③ 移住交流の促進	コロナ禍ではあったが、都市部での移住フェア等による情報発信や移住相談、夏休み親子移住体験ツアー等が効果的に実施できた。移住・交流促進アドバイザーの体制強化を図っていく必要がある。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>戦略的なシティプロモーションの推進については、第2期亀山市シティプロモーション戦略を策定し、今後の取組方向を位置付けるとともに、取組を進めるための庁内横断的な連携・調整の場を設けたほか、専用ホームページやPR動画を通じて市の魅力を積極的に情報発信することができた。また、若者・子育て世帯の定住促進については、「かめやま若者未来会議」のコロナ禍での地道な活動継続をはじめ、市独自の住宅取得支援制度を活用し子育て世帯への支援を行ったほか、「みえ出逢いサポートセンター」のみえ結婚支援プロジェクトチーム(北勢地域)に参画し、出逢いや結婚を希望する方に対し、閑宿での婚活イベントや情報提供を行った。更に、移住交流の促進については、定住支援員を配置した移住相談窓口を通じて、移住希望者に対するきめ細かな相談対応を図ったほか、コロナ禍ではあったが、都市部での移住フェアや三重県主催の移住相談会等へ積極的に参加するとともに、「移住・交流促進アドバイザー」による都市圏での本市のPRや移住相談を実施した。また、移住希望者に市内を案内する「かめやま暮らしめぐり」の実施(5件)や、子育て世帯の移住促進とそのプロモーション動画作成を目的とした「夏休み親子移住体験ツアー」を新たに企画・実施し、先輩移住者との交流の場づくりや本市での暮らし体験等が効果的に図れた。「移住者」には明確な定義付けがないため、その実数が完全に把握できないなど、実質的な取組成果が見えづらい部分もあるが、令和4年度の年間相談対応件数は令和3年度より9件多い75件となり、また、移住者数も22世帯(59人)で、これ以外にも潜在的な移住者も存在するものと考えられることから、概ね移住等の促進が図れた。</p>	<p>B</p> <p>まずまず進んだ</p>
---	--------------------------------

今後の展開方針

シティプロモーションによる本市の多彩な魅力と良質な都市イメージの発信と、移住相談、移住支援策を効果的に組み合わせるとともに、関連部署間の連携を強めながら、情報発信力の向上を図っていく。また、都市部での移住の取組強化を図るため、移住・交流促進アドバイザーの登録者数の増員を図り、定住支援員等との更なる連携に努める。また、本市への定住に繋げていくため、地域と関わりを持つ「関係人口」の創出に向けた都市部の若者等を対象としたワークショップの開催をはじめ、三重県移住・就業マッチング支援事業を活用した支援など、本市への移住交流の促進を図っていく。このほか、若者・子育て世帯の定住に資するため、かめやま若者未来会議の会員数や参画事業の拡大等により活性化を図るとともに、住宅取得支援制度の更なるPRと空き家バンク制度の登録物件の拡大に努めていく。